

ESD 第5 学年国語科学習指導案

大牟田市立玉川小学校

教諭 篠倉 健太

1. 単元名 調べたことを正確に報告しよう「みんなが過ごしやすい町へ」

2. 単元の目標

- ・文章構成や展開，文章の種類とその特徴について理解することができる。 (知識及び理解)
- ・引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 (思考・判断・表現)
- ・粘り強く，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し，学習の見通しをもって，報告する文章を書くことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(教材観)

- 本教材は，調べたことを報告する文章を書く活動を行う。主に，適切に引用しながら書くことがねらいとなるが，調査の目的に合う方法を選ぶ取材のしかたにも着目して取り組ませる必要があると考える。そして，子供達が「報告したい。」「みんなに伝えたい。」と思える課題を設定するのが最も重要と考える。

教科書では，自分たちの住む地域の福祉・共生に関わる問題を扱っている。このように，子供達にとって身近であり，かつ調べてわかることを教材化しようと考え，ユニバーサルデザインを積極的に取り入れている場所である公共施設である図書館や駅等を見学させて自分たちの目で確認できるようにする。そうすることで，調べて報告する必然性が生まれるという点で価値があると考え

(児童観)

- 本学級の子供達は，正義感は強く，正しいことをしようとする態度や行動はみられる。友達が間違ったことやルールを守らない行動をすると，すぐにはいけないことを伝えたり教えたりする姿が見られる。しかし，相手の気持ちや立場を考えない発言や行動もみられる。

これまでの「目的に応じて引用するとき」の学習で，情報を収集・整理するための知識や技能を取り立てて扱ってきたことで，目的によって読み方や引用の箇所が変わってくることを理解できている。しかし，引用カードに自分の考えを書くことができているが，情報と情報の関係に注意して引用したかその理由まで書いたり説明したりすることができる子は少ない。

(指導観)

- 指導にあたっては，引用しながら調べたことを正確に伝えることをねらいとしている。引用は，書いてあることをただ書き抜く行為ではなく，難しい言葉を説明する，自分の考えを補強するなど明確な目的の中で行われるものでなければならない。テーマに合う方法を選んで調べていくと，自分が報告したいことが明確になり，それを正確に報告するためには目的を意識して引用することが求められる。そうしたプロセスで引用を考えていけば，単なる「技術」ではなく「思考」の一環として捉えられ，自他の考えの区別なども自然にできるようになると考える。

4. 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
① 文章構成や展開、文章の種類とその特徴について友達と互いの文章を読み合い、助言し合うことを通して理解している。	①「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。 ②「書くこと」において、道筋の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ③「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	①粘り強く、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、校長先生のお話を基に学習の見通しをもって、校長先生のために報告したいと文章を書こうとしている。

5. ESD との関連

(1) 本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

【多様性】・・・「みんなが過ごしやすくなる工夫」について調べたことを友達と交流し、比較することで目的や場所に応じてそれぞれの工夫がいろいろあることをとらえること。

【相互性】・・・自然・エネルギー・経済などがユニバーサルデザインとして全ての人が快適にできるように工夫することが大切であること。

【責任性】・・・わたしたち自身で学校を変えていこうと思うことが何よりも大切であること。

(2) 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

・批判的に考える力 (クリティカル・シンキング)

本当に学校は過ごしやすい工夫がなされているのか今の学校を見つめ直す。

・多面的・総合的に考える力 (システムズ・シンキング)

公共施設と学校を比べ、共通する工夫を考える。

・コミュニケーションを行う力

調べたことを通して、工夫の良さを意見交流して自分の考えをつくりあげる。

・つながりを尊重する態度

報告を最後までしようとし、学校を自分たちがよりよくしていこうとすること。

(3) 本学習で変容を促す ESD の価値観

・人権・文化を尊重する

全ての人のことを考えたユニバーサルデザインの考えを追求していくことが人権の尊重につながる。

・幸福感を大切にする

校長先生や地域の方と一緒に取り組んでいるという喜びを感じさせる。

(4) 達成が期待される SDG s

3 健康・福祉

11 まちづくり

6. 学習活動の概要（全10時間）

学習活動	●学習への支援 ・予想される児童の反応	○評価 ・備考
<p>1. 学校内にある、みんなが過ごしやすくなる工夫はないか考え、学習課題を設定し、学習計画を立てる①</p> <p>2. 自分が調べようと思うテーマを決め、調べ方の特徴を整理し、自分に合った調べ方を決める②</p>	<p>● 校長先生から話を聞き、学校関係者評価委員会でみんなが過ごしやすい学校づくりをしていることを知らせ報告してみたいと切実感を持たせる。</p> <p>・校長先生に協力し、みんながもっと過ごしやすい学校にするためにもっと人が訪れるところの工夫を調べよう。</p> <p>● 調べるテーマや調べ方の工夫を出し合って交流することで調べたいことが明確でない児童も参考にできるようにする。また、これまでに調べる学習をしたときに使った方法や注意点を整理する。</p> <p>・調べ方はインタビューがいいな。実際に取り組んでいる人に聞いたほうがわかりやすいな。</p>	<p>ウ① (主体的)</p> <p>イ② (思判表)</p>
<p>3. 各自調査をすすめる公共施設見学を含む③④</p>	<p>● たくさんの方が訪れる身近な公共施設には過ごしやすくなる工夫があるか実際に見学し、発見したことの情報をカードにまとめる。</p> <p>・多目的トイレは手すりなどがあってどんな人でも使えて便利だね。</p> <p>・音声で案内していたね。</p> <p>● 見学の後に疑問点等をさらに追究し、調べた情報は、後で引用することを考えて目的を持って調査させる。</p> <p>・音声案内の装置のしくみについて詳しく調べたら、詳しく書いてあるサイトをみつけたよ。</p> <p>・多目的トイレについて詳しく書いてある本を見つけたよ。特別支援学級の友達も多目的トイレを使っているから担任の先生にインタビューしてみよう。</p> <p>※総合的な学習の時間、行事等の学習内容と関連させて調査活動を行い、国語の時間で報告文を書くと、学習効率が高くなる。また、相手意識や目的意識も高くなり、より生きた報告文になりやすい。</p>	<p>ア① (知・技)</p> <p>ウ① (主体的)</p>
<p>4. ユニバーサルデザインで過ごしやすい学校になる工夫を、報告書にまとめる⑤⑥⑦⑧⑨</p>	<p>● 引用のしかた、図表の使い方、筋道の通った文章になっているか注意してまとめる。下書きの段階で互いに読み合い助言し合う。</p>	<p>イ① (思判表)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・どこが実際に見たことで、どこがインタビューしたことなのかわかりにくいよ。 ・文が長すぎていないかな。確かめよう。 ● 地域に報告する校長先生と自分が報告したい内容を改めて確かめる。 ・地域の人達にもわかりやすい報告書を書くぞ。 ● 「きっかけ」「調べ方」「分かったこと」「まとめ」などのパーツに分ける。パーツごとに「下書き→推敲→清書」を行う。パーツごとに清書し、作文を積み上げて全体を完成させる。 ・分けてかいたほうが書きやすかったぞ。 ・短い文でかけていたかな。 	<p>イ③ (思判表)</p>
<p>5. 校長先生に完成した報告書を渡しに行き, 単元の学習をふり返る⑩</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 互いに読み合い, 友達の文章の真似したいところなどを記録させ校長先生や地域の方に伝わるか話合い, 今後の学習にも生かせるようにする。 ・校長先生は参考にしてくれるかな。もう一度みんなで読み合おう。 ・これでみんなが過ごしやすい学校になったらいいな。 	<p>ウ① (主体的)</p>